

『風のゆくえ』

丸山 敏秋 著より

誰でも『論語』の言葉の一つや二つは知っているだろう。

「故(ふる)きを温ねて新しきを知る」とか「過ぎたるはなお及ばざるがごとし」とか「十有五にして学に志し…」だとか。筆者が好きな名言を一つ。「君子の徳は風なり。小人の徳は草なり。草、これに風を上(くわ)うれば、必ず偃(ふ)す」君子は立派な人格者、小人は凡庸な者のこと。君子の徳を風にたとえて、「草は風に吹かれれば必ずなびく」と教えている。どんな会社にも風が吹いている。「社風」という風だ。風は空気の動きである。空気の質も動きも会社の中心に在る経営者の人格、すなわち徳の現れにほかならない。人格者が引き起こす風は、草をなぎ倒すような強風である必要はない。そよ吹く微風であっても、草はそれを受けてなびく。

「社徳」に等しい自分の会社の風を、経営者はしかと感じ取れているだろうか。例えば社屋に一步踏み入るだけで、社風的一端が感じられる。汚れていたり、物が乱暴に置かれていたりすると、「ああ、こんな程度の会社か」と訪問者は思う。すれ違った従業員が挨拶もしなければ、「おやおや」と呆れてしまう。好ましい社風は、一朝一夕にできるものではない。日常の誠意と真心のこもった仕事ぶりの積み重ねが、良き社風をつくる。小さな所からこそ風は吹いてくる。だから日々の「小さな実践」を重視したい。

挨拶、返事、後始末、清掃、感謝の一言、気づいたらすぐする、約束厳守…。

そうした日常卑近な実践に、経営者自らが心を込めて取り組むことで、人格は磨かれ、それが社内に及ぶ。『論語』には「切に問いて近くを思う」(子張)という言葉もある。切実な疑問をとらえ、それを自分自身の問題として思索をこらせ、という教えだ。

どうして売上が伸びないのかと悩んだら、平素の自分の言動に何か問題がないかどうか考えてみたらいい。きっと何か怠っていたことに気づく。気づいたら、直ちに改めるよう努める。たとえ小さなことでも、その真摯な実践が新しい風を生む。

「道は近きにあり」(孟子)なのだ。無理して遠くに求める必要はない。



ひえー、会社の「社風」とは経営者の人格の現れなんですね。私は、自分のことを風ではなく、風になびく草だと思ってました。これからは、山研ビルサービスに素晴らしい徳の風が吹いてくるよう挨拶と清掃をやってみます。



代表取締役会長 山下久人

代表取締役社長 山下信之

世界で最も有名なスポーツ選手の1人、サッカーのポルトガル代表FWクリスティアーノ・ロナウドが2014年7月に来日した際、イベントでスーパースターに憧れを持った日本の小学6年生の少年は緊張しながら一生懸命調べてきたであろうポルトガル語を使って「僕の夢は将来あなたと一緒にプレーすることです。どうすれば夢が叶いますか？アドバイスをお願いします」と質問。たどたどしいポルトガル語に会場から失笑が漏れる中、ロナウドだけは真剣に話を聞き、「なぜ笑うんだ？彼のポルトガル語は上手だよ」とフォロー。「一生懸命話してるのに笑うことはないだろ？」と大人達をたしなめると、会場から大きな拍手が沸き起こった。ロナウドは少年に対し、「信念を持ち、努力を重ねて、チャンスを逃さないことだよ」とアドバイス。それから6年半後、質問した少年はロナウドの言葉を信じ、サッカーに打ち込み、高校サッカーで日本の頂点に立った。本物は言葉や行動で人々に夢を与える。人の一生懸命や夢を笑わない。君を笑う人間はどこかで諦めた人間なのだ。

「誰かが笑っても、無理だと笑っても、決めるのは自分自身」

素晴らしい選手は誰が相手でも対応が真剣で、生き方まで素晴らしいと思いました。



現場報告 『2023年プールの旅から戻って』

【営業部】大野 広亮

市川市からの委託事業で毎年夏に行っている遊泳プールの運営管理を今年も実施しました。市内にある25mプール3箇所、幼児～小学校低学年用ミニプール20箇所の運営管理が対象です。一年間未使用だった各プールの清掃から始まり、水質の管理、監視員さんの募集と教育、開場期間中の監視等、業務は多岐にわたります。このプール運営管理ですが、暑い、体力の消耗が激しい、休みが取れない、毎日がトラブル等々、大変なことが多い業務でもあり、中々息をつく暇がありません。厳しい場面も多く、安全を守る為に行ったことが逆に反感を買うこともあり、気持ちが折れかかってしまうことも一度や二度ではありません。しかし良いこともあります。大きな事故なく8月31日17時を迎えられた達成感、監視員として業務に従事していただいた方々から、楽しかった、やって良かった等のお言葉をいただけた時、この二つは何物にも代えがたいものです。

今年も色々ありましたが、大きな事故なく終了でき、監視員の方から色々なお言葉をいただけた、監視員及び巡回員の皆さん、事務担当の皆さん、関係していただいた皆さんのおかげで今年の夏も最高の季節にさせていただきました。

本当にありがとうございました。

最後に余談ですが、学生や20代の監視員さんと話しているとジェネレーションギャップを感じ、自分が年を取ったことを痛感しました。(初めてプールを担当した時が26歳。今は34歳になってしまいました。)



【公園のミニプール】

☆ 秋の健康/感染症対策 ☆

★風邪やインフルエンザ・コロナウイルスなど流行の季節

今から予防習慣を身につけて、秋冬を健やかに乗り越えましょう。

■ 予防の基本は「手洗い」「マスク」「咳エチケット」の3本柱です。

- ・ 手をめらすだけ、石けんで手のひらをサッと洗うだけ.....では、対策にはなりません。石鹸をつけて、手の平、手の甲、指の間、爪の先と念入りな手洗いを徹底しましょう。
- ・ 新型コロナウイルス感染症は、自覚症状のない方も多いと聞きます。ご自身の体調に心配はないと感じていても、近くで人と話す時にはマスク着用を心掛けて下さい。
- ・ マスクやティッシュを持っていない時は、上着の内側や袖で口と鼻を覆って咳やくしゃみをしましょう。とつさに手で受けてしまうのは避けて下さい。その手で触れた手すりやドアが、接触感染の感染源になってしまいます。



■ 重症化を防ぐ「インフルエンザ予防接種」

予防接種は完全に感染を抑えるものではありませんが、発症の可能性を低くし、感染しても重症になることを防ぐ効果があります。多くの医療機関は10月ごろから予防接種ができるようになります。

効果が現れるのは接種後約2週間とされていますから体調とタイミングを見ながら、予防接種を受けるようにして下さい。効果は一般的に5か月ほど続くといわれています。

■ 腸内環境&口内環境を整えよう。

毎日の歯磨きが「不要な細菌やウイルス等を体内に取込まないようにして、感染症等を防ぐ」効果があります。

■ よく食べ・よく動き・よく眠る。

休養をしっかり取ること、健康的な食生活を送ることがあらゆる病気の予防につながります。

「第7回 安全大会」実施の報告

【安全衛生委員会】

去る9/12(火)、社内従業員20名が参加して安全大会を行いました。

弊社の安全大会は労働災害防止を目的に毎年9/12に開催されます。安全衛生委員の進行で、用意された作業中のイラストの絵を見ながら、グループに分かれ危険な場所・危険に繋がる行動はないか等危険予知シュミレーションを行い、発表しあいました。『油断一瞬 怪我一生』という言葉がありますが、ちょっとした気の緩みやうっかり...ぼんやり...といった油断から発生する事故では一生抱えてしまうような大きな怪我に繋がる事もあります。複数人で作業する時も、自身の体調と周りの仲間の健康状態に心を配り、時には休憩を挟んでケガの防止に努めて下さい。

1人現場の方も多くいらっしゃいますが、作業手順をよく確認して取り組みましょう。そして安全な環境を皆で作って行きましょう。



『安全大会』社内風景

編集後記

9月後半になりましたが真夏並みの暑さが続いています。皆さん、お変わりなくお過ごしでしょうか？秋になると気候もよくなり、一年で一番過ごしやすい時期になりますのでお出かけしたくなりますよね。私はよく自転車を利用していますが、最近自転車の交通ルールについて色々思うことがあります。自転車は小回りがきく分、自由な走行が可能ですがその自由さにまかせて信号無視や交通ルール違反する方が多いように感じます。特に朝の急いでいる時間だと誰でも止まるのも煩わしいと思う時もありますよね。自動車、バイクだけでなく、自転車や歩行者との出会い頭の衝突が一番怖いので、一時停止を守って左右をよく確認して事故にあわない、起こさない為に安全を心掛けて自転車に乗りたくと思います。皆さんもお出かけの際は、心と時間に余裕を持って安全第一で、快適な毎日をお過ごし下さい。(戸佐)

ちいさなしあわせ♡ おおきなしあわせ♡

① 朝、おきたら
どんぐりの実を
とってきて 君に
あげよう

② あいしい♡♡♡
よるこぶじとこを
みまのが
たいすき♡

③ すーしすーしい秋の風が
吹いても、くっいたら
あったかいね。

④ よりそって
ぬもったり...

⑤ こころ、
また どんぐりき
とってきて あげると

⑥ それから、おでかけして
かえったら
君が あたたかい♡
どんぐりのスープをつくってくれていたよ。ありがとう♡